

30【P2】 I -345

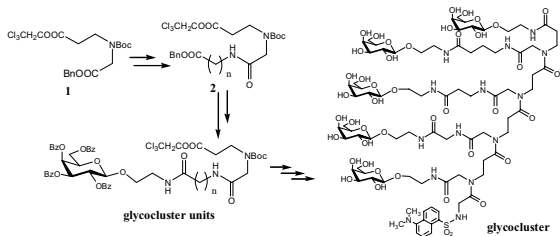
新規ペプチド性糖クラスターの合成(2)

○佐藤 孝治¹, 羽田 紀康¹, 佐々木 恵美¹, 竹田 忠統¹(¹ 共立薬科大学)

【目的】糖鎖の生理活性を増強させるために、糖鎖合成においてこれまで様々なクラスターが合成されてきた。

我々は、これまでにβ-アラニンから誘導した N-置換グルタミン酸誘導体 **1** を基にペンダントタイプのクラスターの合成を報告した。今回、同じ N-置換グルタミン酸誘導体を用いて様々なクラスターを合成したので報告する。

【方法・結果】N-置換グルタミン酸誘導体に 3 種のω-アミノ酸をそれぞれ縮合し(2)、さらに糖鎖を縮合させたものを糖クラスターユニットとし、それらを繰り返してアミド縮合することで、分子内で側鎖の長さが異なるクラスターを合成した。さらに、糖鎖間距離が異なるクラスターや、デンドリマーの合成等も行った。



Tetrahedron Lett., 2003, **44**, 9331-9335